

# 「市民意見募集」の状況

(企画調整局企画部調整課実施)

平成15年10月

札幌市企画調整局企画部

## これまでにお寄せいただいたご意見

10月24日現在，はがき，ファックス，Eメール等により，市民の皆さまから65件のご意見をお寄せいただいています。

ご意見の分野	意見件数
元気な経済が生まれ，安心して働ける街さっぽろ	11件
健やかに暮らせる共生の街さっぽろ	14件
世界に誇れる環境の街さっぽろ	16件
芸術・文化，スポーツを発信する街さっぽろ	8件
ゆたかな心と創造性あふれる人を育む街さっぽろ	2件
その他	14件
合計	65件

## 意見一覧表(※意見内容については一部要約させていただいています)

元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ	
50代 男性	「ちえりあ」での安い講習会に行きたいが、地下鉄代が1回往復600円以上もかかるので安い意味が無い。コンベンションセンターでのためになる催しもいいが駐車場代がかかる。地下鉄代往復480円かけていくほどのものかは疑問。札幌ドームのコンサドーレやプロ野球は交通費をかけてでも行きたいものであり、地下鉄赤字解消に寄与して成功。市民会館でコンサートがあった頃は帰りに食事でもという経済波及効果があったが、キタラではみんな中島公園駅からすぐに帰ってしまう。以上のように、交通費をかけてでも行きたいイベントは郊外の方でやって地下鉄代をかせぐ。社会福祉の一貫としてやっている講習会などは、なるべく交通費のかからない中心部で行う。社会啓蒙活動として行うものはデパートの催事場などで行う。中島公園の南9条通り沿いの土地を売却(現在、公衆トイレとベンチになっている)。通行客やキタラ帰り客が見込める優良地で高く売れる。売却益は市の借金返済にあてる。
50代 男性	駅前通り地下道計画は地下街にして地上の店を全て地下に移し、テナント料を取る。地上は看板禁止とヨーロッパのような街並にする。あいた地上の店舗跡は市が全て借り上げそこに世界の一流店(シャネル、ヴィトン等)に出店してもらい「札幌キラキラ通り」を作る。そこはテナント料も安く、営業税なし、地方消費税なしで東京で買うよりも安くする。外人観光客には免税とする。すすきのには香港のような巨大な電飾看板を作り企業から掲載料をとる。国道36号線、12号線、5号線沿いの全ての家やビルの窓には花を飾る(造花も可)条例を作り「花街道」とする。豊平川河川敷地は観光業者に貸し出し、例えば馬を飼って乗馬体験や馬ソリ体験をする。今のままでは整備費がかかるだけ。ホワイトイルミネーションは、今では地味になってしまった。企業のスポンサーを募って、コマースナル入りでもしかたないのもっと派手なのを作るべき。我々がヨーロッパに言ったときに朝市やフリマが楽しみるようにアジア人も日本に来たときはフリマが楽しみである。そこで駅前通の大通～すすきの間をまいにち歩行者天国にしてフリマを開く。市には場所代が入る。
50代 男性	私は手稲区で建設業を営んでおります。今の建設業は何か悪い事をしているような報道がなされておりますが災害出勤であれ除雪であれ命を削って市民の生活を守るべく努力しているところであります。建設業界の実情をもっと知っていただき、ただマスコミ向けの対応でなく我々も元気が出る行政であってほしいと願うのです。私達の会社にかかわる人は約100名おります。その人達の雇用を確保しております。かわわりをいれるとその何倍かの人が生活しております事を御理解下さい。
40代 男性	中心部の歩道の材質ですが、「歩道と靴の間に雪が挟まり滑ってしまう。」など見た目も重要ですが、観光で来た人など札幌の将来に大切なお客様に対して怪我などあってはイメージも台無しです。地上の歩道、歩道から地下への導入部などの安全性・快適性を考える時だと思います。これは技術の発展にも寄与するだけでなく新たな製造会社又は販売会社として、同様な気候を持つ世界の都市にも販売する可能性もある開発ではないでしょうか。今後の計画の中では生活に即した面で技術的な公共事業を行いつつ、その技術を札幌から世界に売り込むことで経済の活性化を図り市財政の健全化を図るといった方法を模索して頂きたいと考えます。
70代 男性	雇用促進(収入が無ければ絶望である)
50代 男性	①中国瀋陽市との交流を深める。毎年100名程度の交流団を送りむかえる。②札幌市のプロモーションビデオを1)年代別(特に修学旅行生向け)2)英語、仏語、オランダ語、中国語、朝鮮語、ロシア語バージョンを作成する。3)JTB、日本旅行等へ買い取ってもらい、北海道旅行の景品にしてもらう。4)インターネット通販で1980円ぐらいで売る。③上記2点で通年観光が促され雇用も上向きになる。「おもてなし都市サッポロ」をめざす。
60代 女性	観光振興
60代 男性	これからの札幌・北海道はとくに人口が減少していくと思います。20年後は現在60歳の方がぼつぼつなくなっていくと思います。また若い人は仕事を求めて北海道から出て行く札幌も一時的には少し増加するかと思いますが、その後は減少していくでしょう。北海道は資源と国からの交付金で暮らしているところで、またベンチャ企業も一人前になれば営業の関係とか仕事のつながりとかで東京方面に引越して行くでしょう。農業は安心して食べられるものを作っていく。牛は草食動物なので肉骨粉でなく穀物とか良質の牧草など与え、また動物ですから愛情を込めて肌をこすりながら育てるように指導することが必要かと思えます。米、野菜等についても農薬、化学肥料を減らし健康にいいものをつくるのが大切かと思えます。値段で海外と競争しては決して勝ち目がないと思います。極端に言うならばいまの生産者が半分になってもいいと思います。さうすると自然も回復し、河川もきれいになり、海の幸も豊かになると思えます。北海道は季節の変化もはっきりしていて、自然も沢山あるのでこれからの北海道、札幌を含めて観光に力をいれる。いまの北海道観光には目玉がない。具体的には札幌に鶴の舞い降りる沼を作るとか、108の神社・仏閣を北海道全体にバランスよく作るとか、また北海道らしい大きな公園を108の神社・仏閣に付属して作るとかすると思います。設計については世界中から懸賞金を付けて募集する。さうすると世界中から観光をかねて見に来る。観光地としての上記設備等を完成させるのに100年後の長期計画をもって進めれば無理なくできます。また北海道にはよく歴史がないからということをお聞きしますが、それも100年後には、道民の皆様がたは、観光で楽しく生きていけると思えます。

	女性	まず、観光ありき、ではなく基本目標の通りまず札幌市民にとって魅力のある街であるという事を何より第一に、街づくりが進んでいくと良いと思います。そうすれば他の街に住む人は、札幌に来てみたくなるのではないかと思います。
50代	男性	市民発明家のための相談機関を設置して欲しい。せっかく良いアイデアを持っていても、それを製品化する方法が知らなかったり、特許の出し方や先行特許があるかの調査など、弁理士に頼むと莫大な金を取られるので、譲ったままになっているアイデアが多いと思う。10000人に1人でも「札幌のビルゲイツ」が誕生したら、札幌の財政は以後何十年間安泰でしょう。
70代	男性	失業対策として公園、道路、公共見物の清掃を女性、子供連れ女性、生活保護者に従事させる。
健やかに暮らせる共生の街さっぽろ		
20代	女性	札幌市まちづくり計画を広報で、さくらんと整備20億3,100万円と書いてありましたが、本当に20億円を掛けて作る施設なのか、疑問に思います。全くお金を掛けるなど言う事ではないと思いますが、この不景気の時代で少しでも市民が助かる、安心できる町づくりをしていてもらいたいです。高齢化にとても不安を感じます。年金の年齢も変わる時代、子供も減っていく時代、本当不安です。女性が安心して子供を育ていけない問題。保育園に入られない。仕事をしたくてもあずけられない。あずける予定も立たないのに先に仕事を決め、働いている証明書を出せと言う。子供が欲しくても出来ない人も今は増えています。不妊治療にはとってお金がかかると聞きます。保険が使えない治療、体外受精など、ある市では、少子化問題を真剣に考え、子供が欲しくても出来なくて悩んでいる夫婦に治療費のサポートをしていると、新聞で読み私はとても素晴らしいと思いました。高齢化が進み、そして少子化。自分の時には本当に年金がもらえるのか？だから年金をはらわれない人も増えて行くのでは？と思います。もっと身近な時から目を向けてお金を有効に。さくらんとに掛けるお金を福祉・経済に力を入れてもらいたいです。優先順位とは、そう言う事ではないのですか？
50代	男性	高齢者ボランティア条例の制定(仕事をしていない高齢者は必ずボランティア活動に参加しなければならない)。役割を与える事によりボケや老化の予防となる。市が責任を持って1人1人にあった役割を割り振る(現役時代の特技を生かしたものや、公園の管理、保育施設、学校給食調理員、ごみ収集分別など)。それによって市の経費削減にもつながる。人との関りにより孤独老人がいなくなる。もしボランティアに来ない時には訪ねていく事により死後何日もたってから発見されるという事は防げる。条例で強制するのは、自発を持っていたのではなかなか気がひけて参加しない人が出てくるからであり、そういう人こそ参加が必要な人だからである。
70代	男性	NPO法人として在協指導のもとに、市内の実家、店舗を活用して高齢者共同ハウス(下宿等)をさせる。その際在宅介護にボランティア登録者を奉仕せしめ連携させよ。生涯学習を受けた証を社会に還元すべく人材バンク登録者を活用、保護可制度の公務員とし、実施弁償金支給」する。少子化対策として、市が登録した結婚適齢者及び高齢者にあっても子供の承諾書を添え結婚を奨励する。成立すれば市から、夫・妻に対し3万円の祝金を送呈する。
70代	男性	地上部へのエレベーター設置のお願い。 (1)設置場所 地下鉄東西線、バスセンター前駅、9番10番出入口 (2)現状(その1) 当駅の改札口から地上部への出入口は、すべて階段利用(9番47段、10番38段)のため、障害者、お年寄りには昇降は頗る困難のため、タクシーを利用して中心部に買物、通院をしております。 (3)現状(その2) 近年設置場所周辺にも大型マンションが建設され、郊外の戸建から中心部に移動して来た多くのお年寄り、また、市民ギャラリー来場者から異口同音の苦情が聞かれます。 (4)リフト エレベーターは車椅子、ベビーカーにも利用でき、また、中央体育館、市民ギャラリー等、人の集まる場所の乗車率の増加になります。
40代	女性	障がいのある人も、健常の人もいっしょにくらせられたらと、思います。障がいのある人への理解がとてもすくなく、住んでいる所で、役に立つ情報がまわってこない時がありました。また危険とおもわれるのか、にらみつける人間がいて、ケンカになります。地域の中から、もういじめになっております。もっと障がいを広く学校でつたえていただけたらと望みます。
40代	女性	児童福祉法に基づいて、一人でも多くの子供に平等に社会全体で守り、育てる事ができるようよく考えて努力すべき。一部の職業しか対応できない認可園に多額の予算を回して結局待機児童の解消もできないような失敗は二度としない事。
40代	男性	老人・障害者への配慮から販売へ 地下鉄ホームのエレベーターと、列車の車いすスペースの位置に疑問があります。ラッシュ時の健常者の導線を考慮しなければならないのでしうし、建築物の問題もあるかと思いますが、「付いたから便利になっただろう。」的な発想から抜け出せないように思います。
30代	女性	医療ソーシャルワーカーとケアマネという仕事を兼務しています。日頃業務にあたって感じている事は、社会保障にはどうしても限界があり、利用者のニーズを全て満足させる事ができなく、無力感を感じてしまいます。例えば市町村独自のサービスがあるとか、地域活動を活性化させて新たな社会資源を作るなど、安心して暮らせる環境を整備している札幌市であれば、魅力ある都市に発展すると思います。

		1. ホームレスの方の人権確保(住宅、仕事等の提供) 2. 全盲の方にも多くの情報を提供してほしい。(音声、点字案内、注目されている本の点字版等) 3. 車椅子利用者が、エレベーターを気がねなく乗る為に、利用者、介助者専用エレベーターを設けてほしい。
30代	女性	市住でもペットを飼えるようにしてほしい。問題もあるとは思いますがアニマルセラピーとか医学的にもいわれています。老人がペットがいることによりボケずにしっかり、またいこじにならずに生活してくれる方が、同じ団地に住む者としてすごしやすい。
40代	男性	借家住まいの生活保護受給者の家賃は、支給者からの直接支払いとしてはどうか。こうすることで大家には滞納の不安がなくなり安心して貸すことが出来る。なかなか契約してもらえない生活保護者にも借家の候補が増えて希望に叶った所に住み、生活出来る様になる。住居が定まれば安心して次への向上を目差すことが可能となる。
60代	女性	介護問題。敬老パスよりは介護者を励ます「介護者パス」を発行した方がよいと考えています。地域づくりは居住地のすぐ近くに癒しと共生を目ざし「鳥雀の杜」設立三年目を迎えました。また、大通23丁目1-25の石蔵を10月から第二会場として市民にも開放したく思い準備しているところです。「再生建物案内」の観光地めぐりとしての内容を含んでいると思われ、札幌軟石の建物を壊さず保存し、再生して活用の努力を続けておりますが、法制化を願いたいものです。
70代	男性	健康は「個人」に起因するの当たり前であるが、地域ぐるみ、町ぐるみでの取り組みも必要である。若い世代への「健康」へのアプローチの施策が必要である。企業組織体への啓蒙等(例えばその会社、町内会等の表彰等)寝たきり老人を少なくするための予算化なども必要である。(現在取組んでいるものは上意下達の実績作りでしかなく、実効は少ないものが多い)
70代	男性	高齢者社会を生きぬくためにまず健康でなければだめです。退職者後に札幌市ボランティア協議会に登録し最初の仕事が平成5年7月のあの南西沖地震による支援金のお礼状書きでした。あの被害を少しでも少なくするためにも各地方団体との横の連絡が大事です。
<b>世界に誇れる環境の街さっぽろ</b>		
50代	男性	世界に誇れる環境の街にする為には市条例を制定する事である。地元の市民のレベルが低ければ水の泡である。環境とはエコもあるが住みよい、世界の国々の方が札幌市を訪れても安心して歩ける交通アクセス等、形だけの歓迎ではない、自然の形で迎える環境づくりでなければならない。当然札幌市だけの条例を十分に考えるべきである。地元の癖を判らなければ進歩改革は難しいでしょうが、「札幌はどうですか」という田舎的質問は控えるべきである。外国人は札幌というより一つの町としか考えていないのですから、札幌市民が誇れる街にグレイドアップして札幌が一番ではなく、一番遅れている事に強調して、タイトルのように元気で世界に誇れる札幌市にしていくべきでしょう。
50代	男性	車の市内乗り入れを少なくするために、地下鉄駅に隣接した市営駐車場を作り、バスと地下鉄の乗り継ぎ券の発想で、地下鉄乗り継ぎ割引駐車料金を設定したらどうでしょうか。街の混雑防止と地下鉄利用者の増加が見込まれると思います。
	女性	広報の札幌新まちづくりを見て広報&提案出したいと思います!!札幌のまちに森をふやしてかんきょうをととのえたらよいと思います!誰もがあんしんして平和なまちになってほしい...だって...私この札幌大好き だから札幌のまちの空気は汚したくない...きずつけたくないの!!おねがいっ!!空気がよい札幌になりますように...
		歩行空間においては、都心について考慮されているようですが、市内全域も視野に入れて頂きたい。具体的には、車道に自転車の乗り入れは条令で禁じられないものなのか?老若男女が手軽に乗れ、エコではあるが、車道と並行させては危険と思われます。現状では、自転車には、方向指示機など整備されておらず、自動車との接触も有り得ると考えられます。そこで、歩行者道路の拡幅をし、車道同様にセンターラインをひき、歩行者用、自転車用と住み分けをしたら如何でしょうか?
20代	女性	タバコのバス・地下鉄禁止は、タバコを吸わない人に煙を吸わさないとても良い事だと思います。だからと言って外にも灰皿を置かないと、もっとマナーの悪い人が増えていくと思います。灰皿があれば指定された場所で吸う思うし、ポイ捨て、歩きタバコが減ると思います。罰金を取ったら、もっと減るかもしれませんが、タバコを吸う人も、タバコの税金を払って、吸う場所(灰皿がない)がないなんて、かわいそうだと思います。ちなみに私は吸いません。でもきれいな町を作るのであれば灰皿を外に置いたり、言う事も必要な事なんじゃないかな?と思います。タバコの事は大した事ではないのですが小さな問題から住みやすい町にしてほしいです。上田市長の市民参加の考えとても素晴らしいです。本当に市民の声が届くのかわかりませんが市長に期待しています。

50代 男性	<p>1.自転車専用道, 歩行者専用道の積極的な導入 都市生活者が安心して移動できる都市空間の整備 市内中心部及び重点モデル地区の設定し, 緊急車輛以外の不要不急の一般車輛の排除当面時間帯限定可将来的には24時間の排除を目指す。当面大通り公園及び札幌駅前から地下列中島公園口までの丁字型道路区分帯においては車輛の通行の大幅制限を実施してはどうか。また市内中心部及び郊外を含めて駐輪場並びに小休息する為のベンチ等の設備があまりに少ないと感じる。</p> <p>2.空き店舗の有効活用 リサイクル活動に対する支援 青空市, 蚤の市の定期的開催の為に, 積極的な施設等の提供整備及び公的支援の実施</p> <p>3.小規模の都市公園における地域独自の記念モニュメントの設置 住民の自主作成彫刻等, 又は手作りモビール等の設置の検討 但しあまりに華美にならない程度に現状の公園はあまりにも無機的無表情であり, ありふれた遊具の置き場と成り果てているのではない。更に住民の憩いの場としての機能を果たさきっていない。</p> <p>4.ごみステーションの再検討 からす等の対策も含め, もう少し美観と機能を考慮した設置改修の方策を検討してはどうか。ドイツ等西ヨーロッパ並にとは, 諸条件の違いもありすぐには難しいと思うが…また大型ごみ, 中古パソコン, 中古テレビほか家電等は地域の中でのリユースが出来やすい情報交換のシステムを構築してみてもどうか。等々</p>
50代 男性	<p>ゴミの分別収集をもっと徹底すべき, 家庭生ゴミも分別収集してバイオマス発電に。ノンプ・DM類も分別収集して再資源化, 庭の雑草や庭木の枝なども「雑草刈り週間」や「枝切り週間」を設けて回収し資源化する。古着や古靴も回収, 上記殺菌して発展途上国へ援助, 一部は売って回収費用に当てる。放置自転車は3回で回収し, 中国に輸出して回収費用をかせぐ。大規模な団地にコジェネ発電施設を作り自家発電を行う原子力や火力よりも環境に優しく, 発電分散させることによりニューヨーク大停電のような事態にもリスク回避となる。団地住民が集まって自分達で会社を作るなら現制度内でも出来るのではないか</p>
70代 男性	<p>ゴミの減量化に真剣に取り組む。生ゴミはコンポスト等によってかなりの量を減らせると考える。ゴミの有料化に踏切ってはどうか。不当投棄等の懸念はあるが, 低料金(現在市販のゴミ袋の大きさで1袋50円以下位にて)にして負担感を抑制する。ゴミ問題は相当思い切った対処しないと, 近い将来限界に達しそうな気がしてなりません。心配です。</p>
男性	<p>最近市内のいくつかの場所に流雪溝が設置され付近の家では便利に成りましたが, あくまでも歩道の雪を流すぐらいで, 車道の雪は除雪後にダンプを使って排雪しなければ成りません。この様な事が毎年毎年繰り返えされ, 使用するダンプの排気ガスにより空は灰色に成っています。ダンプ等に掛かる費用は毎年何百億にも成り極論すれば貴い血税を溝に捨てている様な物です。この様な費用を生産性の有る物に換えればまだまだ住み良い街に成ると思います。一度作れば半永久的に費用の掛からない物が一番良いと思ひ融雪溝の設置を考えてみました。私案ですがこれは歩道と車道の中間に設置する。内容は 幅2m長さ5m深さ10m位 車道側は全開とし歩道側は幅1m長さ2m位開ける。これだけの大きさが有れば約100屯の雪を入れる事が出来ます。これを100m間隔で設置する事に依り一度に30cm位の降雪が有っても全部除雪する事が出来ると思います。降ったばかりの雪は柔らかいので予想以上の効果があると思います。また登坂車線では ロードヒーティング又は散砂等により スリップ防止をしていますが 昼間溶けた水が夜に成るとアイスバーン状態に成る為これらの防止の為使用する一冬の電気代・燃料代もかなり掛かると思ひます。水を早く処理できれば気温が下がっても心配が無くなります。この水を早く処理する為に中心線から路肩に勾配をもつ幅5~10cm位の溝を5~10m間隔で設置する。これで路面も早く乾きスリップの心配も無くなる。</p>
30代 男性	<p>100年先を見越したスーパーコンパクトシティの実現を！札幌都心部に限って、ビルの容積率を大幅に緩和すると同時に高さ制限を撤廃し、高さ200m~400mの超高層ビルの建設を促すべきだと思います。100年先、年平均1%の経済成長率だと仮定すると現在の2倍、2%成長だと4倍の経済規模になります。オフィスビルの需要は今後徐々に増加します。老朽化した都心部のビルを建て替える際には、街区の他のビルと共同することにより街区全体を超高層化したらどうでしょうか？札幌市はニューヨーク市と街区が非常によく似ています。これからのまちづくりの良い手本になると思います。</p>
60代 女性	<p>地球環境保全～森づくりの「紙ネッコン」のボランティアも少ししています。</p>
男性	<p>大通下の地下駐車場に雪まつり後の雪をつこんで夏場のクーラーに利用する。</p>
60代 男性	<p>自家用自動車の都心部乗り入れ制度策について、交通渋滞による経済的損失は図りしれないものがあるほか、大気汚染の大きな要因でもあり、緊急自動車の運行にも支障が或るなど、放置できない問題です。そこで、車の乗り入れを減らす方法として、都心部の駐車場(有料駐車場のほか、デパートなどお客様駐車場, 官公署の通勤自転車置場)の利用者個人に特権の税を課することはできないでしょうか。それにより、公共交通機関の利用が増えるほか市民の健康増進にも役立つと考えます。税収も増えます。</p>

40代 男性	世界に誇れる環境とはまず基本的に清潔でなければならないと思います。現状の問題点は、タバコのポイ捨て、ゴミを平気で歩きながら、又は車からゴミを捨てて当然という態度でいる人が多すぎます。(歩きタバコは吸っている人が手を下げると小さい子供の顔あたりの高さになり危険です。)ゴミを平気で捨てるという行為は汚れているところはますます汚してよいという心理(ブローケンウインドウズ理論)が働いて仕舞っている気がします。ハワイでは歩きながらタバコを吸っている人を日本人以外では見たことがありません。(提言)①歩きタバコの禁止、タバコ、ゴミのポイ捨て禁止(スキー場リフトの下もひどいです) ②電柱の地中化推進、看板、広告の統一化、基準の制定。
40代 女性	札幌のみどりをさらに充実させるのはとても重要だと思います。目標の実現一市民として、わくわくする思いです。
70代 女性	札幌駅から薄野まで歩行者天国とし車を乗り入れない。(西3丁目4丁目間)午後11時～午前5時まで禁止解除。

### 芸術・文化、スポーツを発信する街さっぽろ

50代 男性	貸しビデオ店に行っても住年の名作は無く残念である。そこで映画図書館のようなものを作り、古今の全ての映画・ビデオを収集保存して欲しい。そして中央図書館にあるような視聴覚機では一本100円で見せる。また、あらゆる映画の本・雑誌・パンク・評論などをマイクロフィルムで保存し(世界中の)、映画の勉強をしたい人は札幌にくるようにする。市立高専に映画科を設ける。郊外に大ドーム型撮映所を作り映画会社を誘致する。小中学校の空き教室に中古パソコンを並べ、オタクを集めて映画CG製作の下請けをさせる。生徒も刺激を受けて教育にもプラスとなる。
	私は、ミュージカル、特に劇団四季のが好きで以前は、仮設ではありましたが専用の劇場があり、よく見に行っていました。今はなく、四季の方でも本当は、札幌にも専用の劇場を建設を希望しています。ただ、支援をしていただける企業が、経済面できびしく実現していません。ぜひ、又、札幌に四季の劇場が出来るよう札幌市で道と共に誘致して下さい。
20代 男性	今月発表された「モーニング娘。特区」により子役の労働時間が全国一律午後9時まで延長されましたが、これでは十分な活動ができないと言われています。今年6月に横浜市が提案した「文化芸術創造交流特区」のようなものを札幌も行ない、子役等の活動時間を10時まで延長してはいいでしょうか？生活習慣の変化により、世間の人たちは遅い時間まで起き、活動時間も長くなっています。演劇に限らず芸術・文化活動を行なう個人・団体はより長い時間活動したいと思っているはずですが、子供が欠けてしまつと十分な活動ができない団体はプロアマ問わず多数あります。「芸術・文化・スポーツを発信する街さっぽろ」とするために子供たちの活動時間の延長を！また、似たような内容になりますが、文化施設の営業時間の延長もお願いします。「ちえりあ」は他の施設と比べると閉館時間は遅いのですが、平均して施設の閉館時間は9時ぐらいになっています。9時に閉館するということは8時50分ぐらいには借りた部屋を片付けて追い出されるということです。世間の活動時間が長くなっているのにそんな早い時間に追い出されては十分な文化活動ができません。文化施設は文化を育てる役割も持っているはずなのに、これでは文化活動を制約しているように感じます。いっそのこと10時ぐらいまで閉館時間を遅くしてはどうでしょうか？
20代 男性	北方スポーツ推進普及→カーリング→カーリングホールの建設(カナダは普及している)→青少年教育につながるのでは？ ↳老若男女楽しめるスポーツ
60代 女性	文化方面は「介護たんか」で本年道新に二度載りました。スポーツは山歩きやノルディック、自転車愛用者。
	男性 羊ヶ丘展望台に宮ノ森ジャンプ台の移設を。(通年使用で練習も兼ねて一般の人に見てもらおう。又その周囲は距離スキー場を設け広く利用してもらおう。ドームを中心にスポーツ広場になれば)
20代 男性	市長も音楽が好きなので期待している。PMFの大通公園での開催について、良い場所での演奏なのに両側の車の音が音楽の邪魔になっている。半径100mぐらいは交通規制をしてほしい。そして、クラシックだからとスピーカーの音を小さくしすぎるのではなくて、後ろのほうまで聞こえるようなものも必要。こうしてもらえれば、来年はもっとよくなる。そして、PMF以外にも常時的・定期的に開放的に場を提供できればと思う(札幌響、Mix04などにも←来年になるだろう)
20代 男性	来年から日本ハムファイターズは札幌に移転しますが、札幌(もしくは北海道)のスポーツを活性化させるために、2球団が手を組んで札幌ドームを舞台に合同プレシーズンマッチを企画してみてもいいでしょうか。それぞれのチームがただ試合をやるだけでは面白くありませんから、週末の2日間対戦相手も同じ都市をホームタウン(フランチャイズ)として共有するチームにするのです。たとえば「札幌vs横浜」を設定した場合、相手チームは、同じ横浜という都市をホームタウンとして共有する横浜・ベイスターズと横浜F・マリノス(もしくは横浜FC)になります。ふたつの競技が同じ週末に、なおかつ同じ都市を共有するチームを相手に試合をすることで「都市対都市」の色合いが強調され、北海道民の地元意識が高揚します。

### ゆたかな心と創造性あふれる人を育む街さっぽろ

50代 男性	行政職や現業職公務員はNPOやアウトソーシングによって削減できるが教育職はそうはいかない、今だに欧米並みの1クラス20～25人を実現できていない。そこで行政職で減らした分の人数を教育職で雇うことにしてはどうか。定数法があるので身分は行政職のまま出向という形にする。大きく人数を増やすにはワークシェアリングを行い、教員の給与を一律減らすかわりに、人数を1割多くする。昨今、公務員の給与が高いと責められているおり、これが一番の解決かと思う。これに教職員連合が反対するのなら「子供のため」は名ばかりで自己保身団体に過ぎないこととなる。
60代 女性	創造性あふれるさつぽろづくりの一人になりたいです。
その他	
50代 男性	札幌市民が元気な街になるためには、個々の収入が安定することが最低の基準である。そのためには行政が市民サイドに向いているかである。役人(公務員)だけの論理・理論で行政を展開しては無理である。行政の失点ほどどんな事でも解決性は生まれないであろう。まず元気な経済にするには、役人の発想を切り替え、人材投入であろう。欠点は同じ格では見出せないのだ。安心して働ける札幌市にする為には、分子である核の発展であり、個々の行動が進行になり発展へと進み新たな経済運動がうまれるのです。すなわち、即行動力を発揮し市役所という艦隊を少しでも新たな航海に導き経済発展に繋げることです。
50代 男性	前市長は何をやりたいのかよくわからないイメージでした。創成川道路にしる、大通りの連結化にしる、アドバルーンを上げて意見を聞くのはいいが、本当にやりたいのかどうか伝わってきませんでした。今度の上田市長にはそうならないように期待します。今度やりたいことがあったら、テレビや街頭に立って市民に熱く訴えて下さい。選挙のときでそれは終わったと言うならおおまちがいです。これから本当に、支持してくれた人もくれなかった人にも協力をお願いしなければならぬんですから。また、職員の皆さんには、何かを行えば利益になる人と不利になる人が必ず出るわけですから、本当に行きたいのなら不利になる人々や企業を一軒一軒説得して回るくらいの活動が必要だと思います。そうせずに意見だけ出させていたのではいつまでたってもまとまらないと思います。
10代 男性	まちづくり計画に対する意見じゃないですけど思ったことがあったんで言わせてください。今日米寿の記念でようかんが送られて来たんですけどなんでようかん？お年寄りには糖尿病の人も多くて食べられないんじゃないでしょうか？どうせなら湯飲みとかの方が…
70代 男性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・札幌新まちづくり計画市民会議は学識経験者など含めて市民が8名、高校生は無参加、新人類という高校生も市民です。</li> <li>・委員を募集する用紙は区民センターにも有ると言っておりましたが区民センターには有りませんでした。</li> <li>・ピンクチラシを取る法律もない北海道です。外国の観光客がくるのでしょうか。</li> <li>・道路交通法改正(過積載に対する罰則強化)という道路法になっておりますが古い道路法で札幌市の道路とか橋とかトンネルが有りますがこれでいいのでしょうか。</li> <li>・ボケ対策ではなく、ボケない老人対策を市民指導して下さい。</li> </ul>
女性	行政のとり扱う個人のプライバシーに関わる書類の発行については、本人確認時には、氏名のみでなく生年月日も確認して下さい。今のままでは悪用するのはいくらでも悪用できます。
40代 女性	能力以上の給料をもらっている行政関係者でしかも、十分に経済力があるにもかかわらず国や市からの助成を受けている所は一部辞退するか、減額して、当たり前である。少ない予算を暗闇を通して黒い資金として貯めず、市民を通して清い有意義なものにするべき。弱い者の仕事や生活を奪うような行政を改め、未来を担う子供たちの良い手本となる大人社会にせよ。
50代 女性	44年ぶりに民間からの市長誕生に大変期待しております。ところで先日来各区で市長との対話集会を開催するということで西区から始まり、楽しみにしておりましたところ、西区のようなタウントークは各区ではやらないようにうかがいとてもがっかりしました。本当でしょうか。是非共、全区で同じように行ってください。不公平・不平等になります。
70代 女性	地下鉄財政の健全化が急務
40代 男性	近年、自転車による通勤/通学/買い物が増えています。(不景気と健康増進もあいまって利用者が増えているとはいえ)しかし、都市化においてこの自転車利用アウトロー達は、社会ルールに共存する道を選んでおりません。個々の判断で歩道/車道の斜め横断、交差点及び信号無視/無断駐車をわれわれも徒党をくんでくりかえしております。この反社会化軍団に先駆となって禁止/分別化をはかっていかないとイケません。過去 町内会等で取り組む事例は数あるが、阻止できるものでないことは明白です。都市化された札幌市が率先的にとりくまないといけない環境条件です。是非、ルール化された整備を図ってください。
60代 男性	夜11時以降あらゆる営業を原則禁止にする。世の中の生活リズムがどんどん夜型に向かって進んでおりますが、人間の生理的側面、子供達の精神的な面、防犯、省エネなど、あらゆる面で問題があります。個人問題と言う考え方もありますが、とりわけ青少年に与える悪影響と、膨大な資源、エネルギーの浪費を考えると、その程度の行政の介入はあって良いと思います。これにより経済の落ち込みや活気が失われるとしても一時的なもので住み良い街の実現に役立つと思います。

60代 男性	<p>札幌市の今の組織は大きすぎます。これからは人口も少なくなります、税収も少なくなりますので小さな役所をめざし職員を半分にして、できるだけ仕事を民間に移すようにすることも必要かと思えます。以上思うままに書きました。100年後の北海道・札幌をめざして頑張ってください。よろしくお願ひします。</p>
60代 女性	<p>広報札幌10月号「どこが」と良く判らないのですが今までとどこか違う。この号から、毎月溜めて大事に保存する気になりました。介護保険料、今月分より、更にアップして老齢年金より引かれます。貧者、私は、つましい物を食して、健康に留意、お医者に患らない様にと務めますがいつどこかと判りません。お世話になりたくありませんが、どうなるか。でも保険料は我が身にきつすぎます。苦しく負担しています。自転車大好き人間です。老いて足がおぼつかなくなっても自転車なら大丈夫と云う人を隣人に知っています。別に急ぐ訳ではないのです。大通りとか、人の混む処でない快適な道路を回って走っています。舗道に物を置くとか、駐車をしているのはとても困ります。自転車で他の乗り物と時間をきそう気はありません。</p>
70代 男性	<p>公共図書館行政は、本市の場合ずーっと軽視されてきました。本来なら各区に一館はあるべきでしょう。欲を言えば連合町内会エリアで一館をもちたいものです。ただし蔵書構成が問題です。基本的には辞書、辞典類と各種の全集類、それに雑誌バックナンバー等々。また将来的にはパソコン関連も視野に入れたい。要するに家庭で買い込めない、あるいは保管できない資料を主体にすること、それが本当の公共サービスと思えます。イギリスには2キロ歩くと一館ある町もあると聞いています。どうぞ新施策に！</p>
20代 男性	<p>最近多い地震対策について 道と市が協働で地震・災害に対する呼びかけをした方が良いと思う。不安をあおらないように丁寧にかつ分かりやすく。  1地震が起こったときどのように非難すればよいか。←地上地下で建物  2食糧、水など、何をどれ位用意しておけばよいか。  地震対策(災害対策)マニュアルをもっと人々に認知されるよう努力してほしい。備えあれば憂いなしといふように。そして、いつも言われる事後処理ではなくて、先手を打ってもらいたい。復興費に予算をあてるより、予防費のほうが安いので。</p>